



農林大学校の動き(H29年5月)

2017. 6. 15

島根県立農林大学校 (担当:教育部 松本)

TEL:0854-85-7011 FAX:0854-85-7113

<http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します。



○新規就農者等を対象とした「野菜実践研修」及び「有機農業実践研修」の開校式

「野菜実践研修」2名、「有機農業実践研修」3名の研修がそれぞれスタート。「野菜実践研修」は5～10月の毎週木曜日(全17回)、「有機農業実践研修」は5～10月の毎週火曜日(全22回)。



○鳥取・島根農大交歓会を鳥取農大で開催(5/17～18)

この交歓会は30回を超える伝統のある行事で、毎年相互に訪問し、農大視察とスポーツ交流により、お互いの交流・情報交換の場となっている。今年は鳥取農大を会場として実施。島根Aチーム優勝(ソフトボール)。



○水田で有機水稻の田植え始まる(5/26～)

育苗期間中は、日照時間が昨年より少なかったが、苗の生育は順調であった。田植え作業は順調に行われ、つや姫、コシヒカリ、きぬむすめ、ミコモチを5月26日から6月9日までに植える予定。



○2年生が、「石見銀山活動」実施(5/23)

大田ロータリークラブとの連携活動により石見銀山世界遺産登録10周年を記念して、大森町町並み交流センターへ紅白梅を植樹することになった。また、市民公開講座に参加し石見銀山の歴史についても学んだ。



○7月2日(日)に第33回農大祭開催(10:00～12:30)

学生が中心となり、内容・運営等について検討を重ね順調に準備が進んでいる。また、今年のテーマは「細胞レベルで農林業してるう？～今年の農大祭は神ってる～」に決定した。

○林業エンジニア研修(林業架線基礎)を開催(5/15～5/26)

県内4事業体の4名が、安全かつ効率的に架線集材作業を行うための基礎的な知識や技術の習得を行った。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。